

県庁東交差点の渋滞対策の結果と分析

2.2. キャンペーン実施時の奈良公園周辺の渋滞状況について

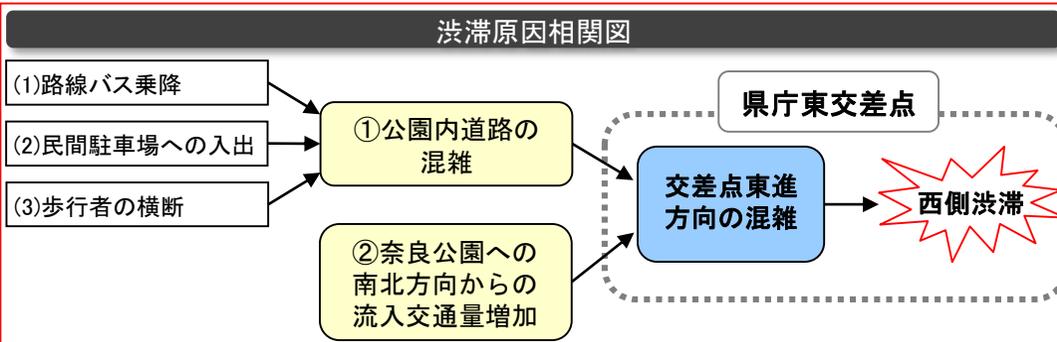
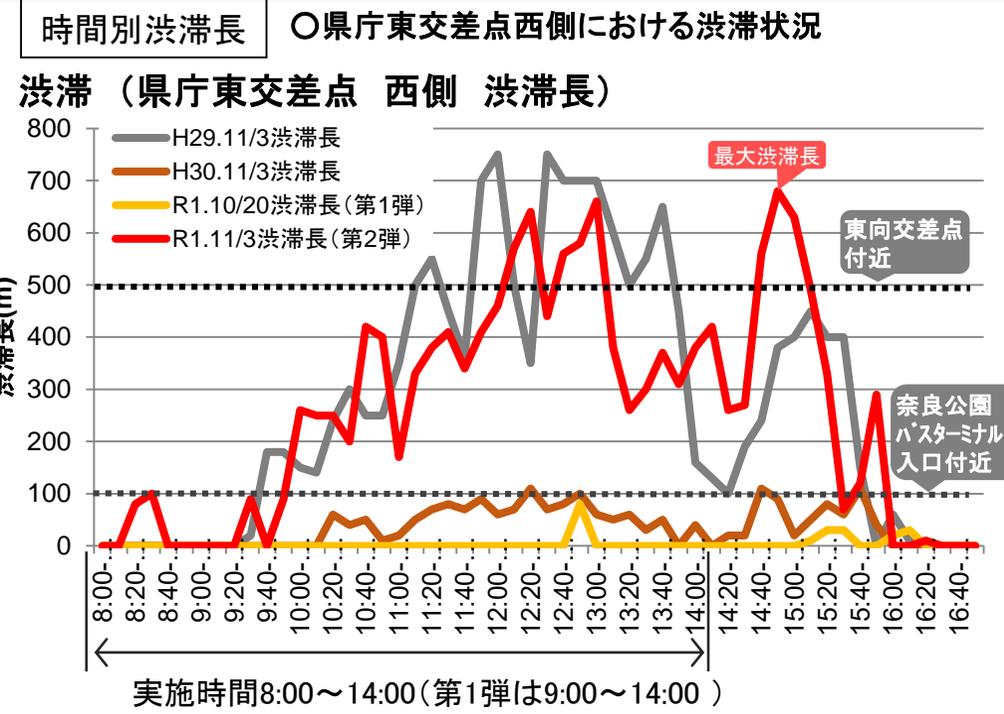
(1) 県庁東交差点の渋滞状況

令和1年秋の結果

出典：各期交通量渋滞長調査

○県庁東交差点西側（大阪方面）の渋滞は、第1弾（10/20）は最大80m。第2弾（11/3）は最大680mとなり、H29秋期より改善したが、H30秋期よりも渋滞長が伸びた。

○渋滞の原因としては、①公園内道路の混雑と②奈良公園への南北方向からの流入交通量増加



2.2. キャンペーン実施時の奈良公園周辺の渋滞状況について

渋滞原因①：公園内道路の混雑

令和1年秋の結果

○氷室神社付近での路線バス乗降、民間駐車場への入出、歩行者の横断等により、公園内道路の混雑が発生。

原因(1) 路線バス乗降



原因(2) 民間駐車場への入出



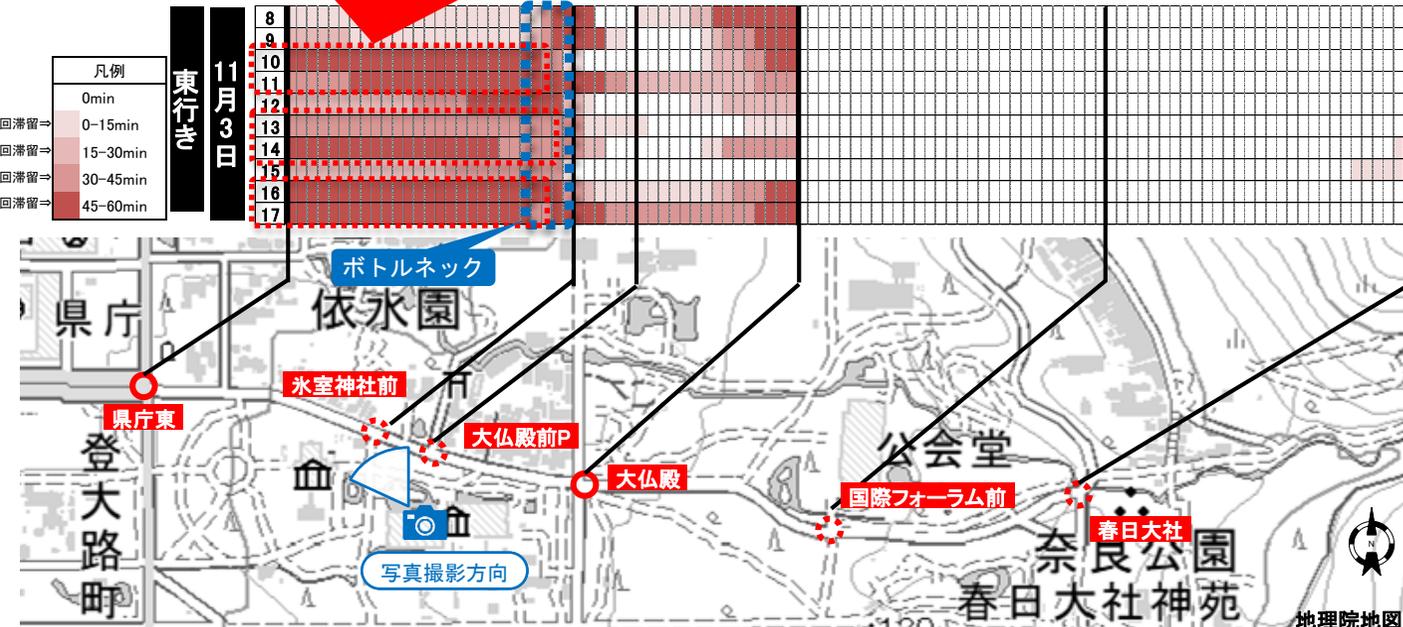
原因(3) 歩行者の横断



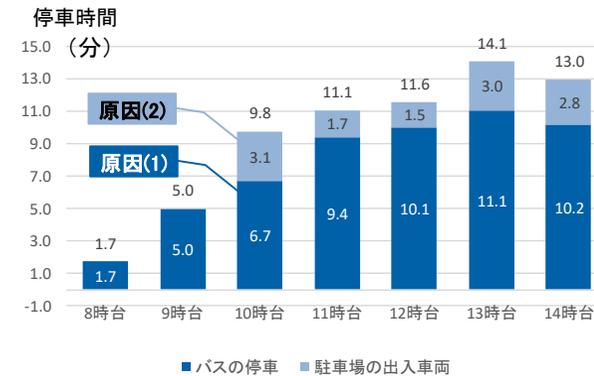
○県庁東交差点東側における車両滞留状況

県庁東交差点まで滞留（4回の観測のうち3回以上）

※15分毎に車両の滞留状況を10mピッチで計測
 ※調査員の歩行速度よりも速度の遅い車両が滞留する区間に着色
 ※1時間に4回観測された区間が最も濃い着色



○ボトルネック箇所での原因(1)、(2)による停車時間



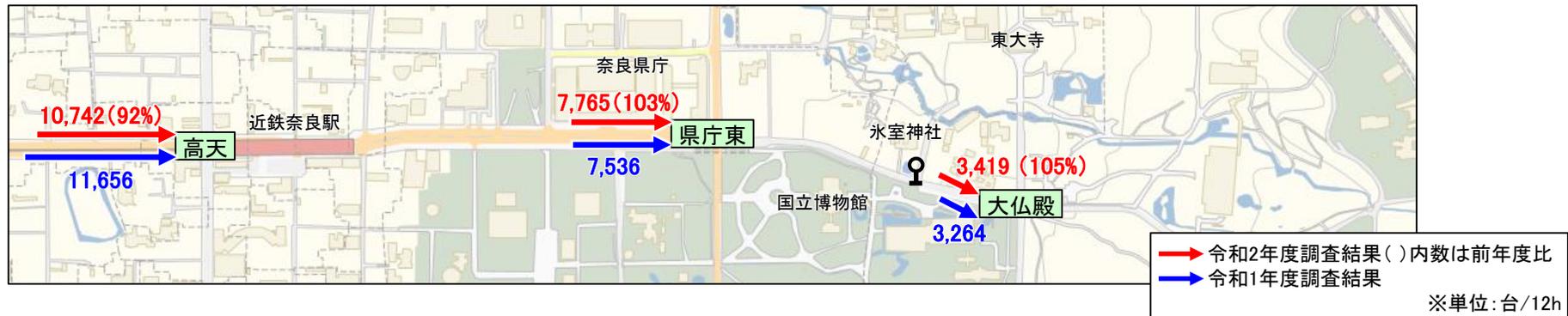
バスによる停車：約54分
 駐車場の出入車両による停車：約12分
 計：約66分間、後続車両が停車

出典：ボトルネック調査

(1) 奈良中心市街地の交通状況等の比較

- 県庁東交差点西側流入交通量は、対前年比**3%増加**
- 公共交通 + P&R分担率は、対前年比**7%減少**（※来訪者の12%は新型コロナを理由に自動車で来訪）
- 正倉院展の来館者数は、対前年比**約2割**、マイカー来館台数も**推計約1,800台/日**少ない（※令和2年は入場規制実施）

分類	項目	令和2年	令和1年	令和2年-令和1年	令和2年/令和1年	備考	
交通量	大仏殿交差点西側流入交通量 (台/12h)	3,419 (11/1)	3,264 (11/3)	+155	105%		
	県庁東交差点西側流入交通量 (台/12h)	7,765 (11/1)	7,536 (11/3)	+229	103%		
	高天交差点西側流入交通量 (台/12h)	10,742 (11/1)	11,656 (11/3)	▲914	92%		
その他	公共交通 + P&R分担率	65%	72%	▲7%	-	来訪者の12%は新型コロナを理由に自動車で来訪	
	正倉院展	来館者数 (人/日)	2,122	13,857	▲11,735	15%	令和2年は正倉院展入場規制により 上限260人/h
		マイカー来訪者台数 (推計) (台/日)	424	2,217	▲1,793	19%	

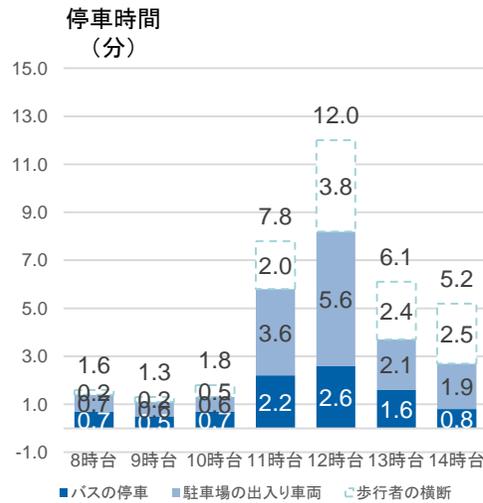


(2) 公園内道路の交通状況の比較

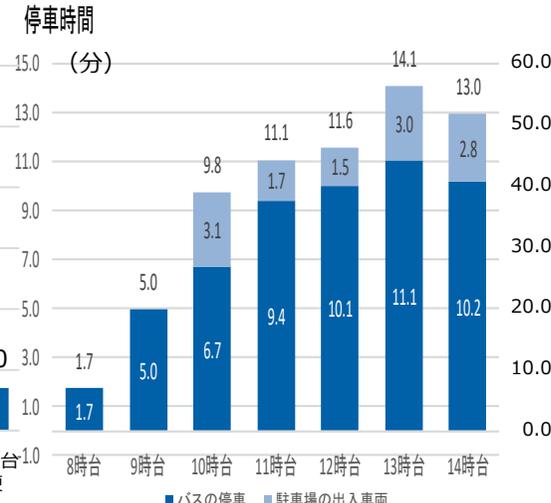
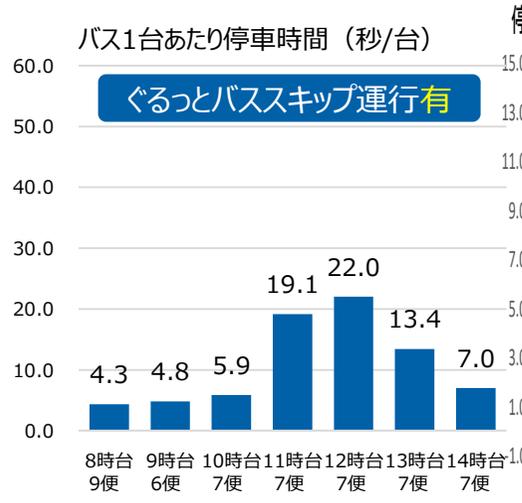
○ 後続車両の停車時間が昨年の約66分から約24分となり**約42分**改善



○ ボトルネック箇所での渋滞要因別停車時間 (令和2年11月1日)



○ ボトルネック箇所での渋滞要因別停車時間 (令和1年11月3日)



出典：R2年秋期 停車時間調査

出典：R1年秋期 停車時間調査

バスによる停車 : 約9分
 駐車場の出入り車両による停車 : 約15分
 歩行者の横断による停車 : 約12分 (参考)
 8時台～14時台の計 : 約**24**分間、後続車両が停車

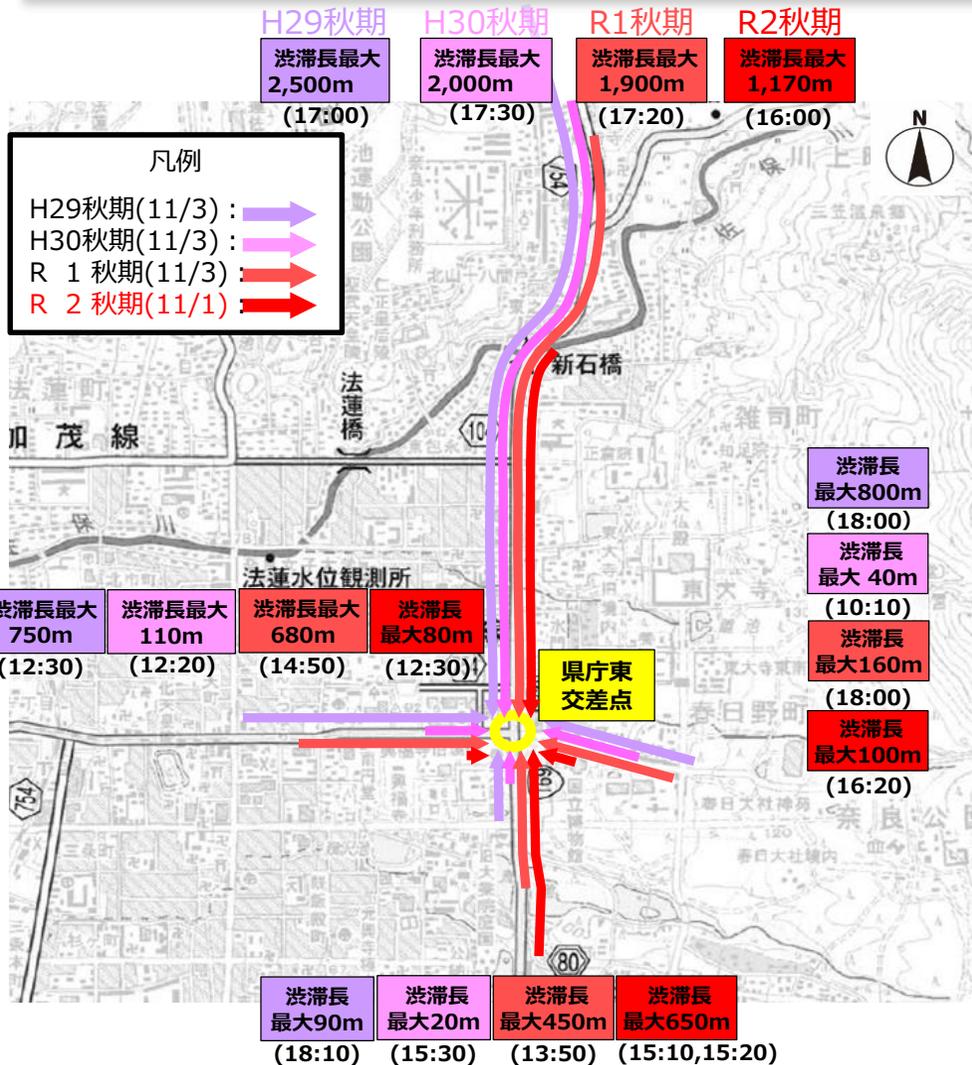
バスによる停車 : 約54分
 駐車場の出入り車両による停車 : 約12分
 8時台～14時台の計 : 約**66**分間、後続車両が停車

(3) 県庁東交差点の交通状況の比較

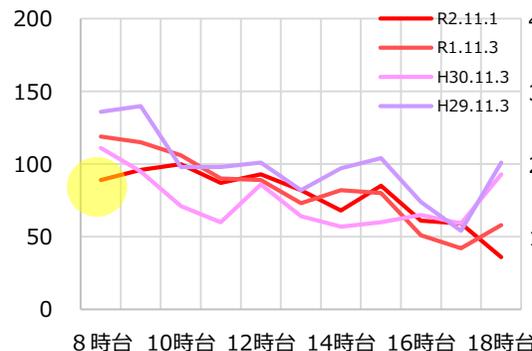
出典：各期交通量渋滞長調査

- **大阪方面からの渋滞は、最大80m。R1秋期より大幅に改善**
- 京都方面からの渋滞は、最大1,170m。R1秋期より改善
- 天理方面からの渋滞は、最大650m。R1秋期より悪化

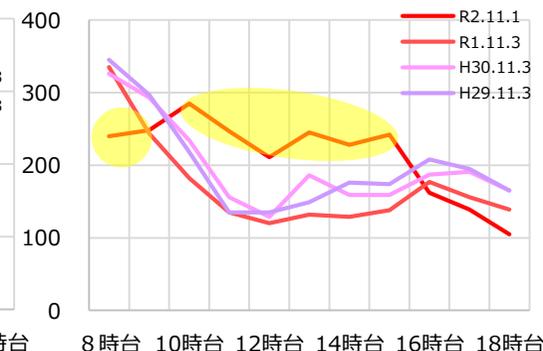
- 全方向の8時台の流入交通量が過去3年と比べ減少
- 南北方向からの流入交通量は、過去3年と同様の傾向
- 大阪方面からの日中の流入交通量は、過去3年と比べ増加



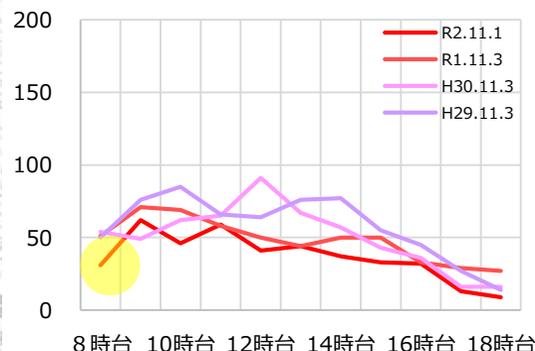
① 京都方面から奈良公園内への流入交通量



③ 大阪方面から奈良公園内への流入交通量



② 天理方面から奈良公園内への流入交通量



「氷室神社・国立博物館」停留所のスキップ運行による公園内道路の混雑緩和が、**大阪方面からの渋滞の改善に寄与**

結果

令和2年秋期は、ぐるっとバスの「氷室神社・国立博物館」停留所のスキップ運行を実施したことや新型コロナウイルスの影響で正倉院展が1時間あたりの人数制限を設け来訪者の来訪時間が分散されたことなどにより、以下の改善が見られた。

- 当バス停における後続車両の停車時間が昨年度の66分から今年度は24分に短縮しており、**奈良公園内道路の交通混雑が大幅に改善**された。
 - 県庁東交差点西側（大阪方面）の**渋滞はほぼ解消された**（昨年度の最大渋滞長680m→今年度80m）。
 - 県庁東交差点北側（京都方面）の渋滞も緩和された（昨年度の最大渋滞長1,900m→今年度1,170m）。
- ⇒ 観光シーズンにおける**当停留所のスキップ運行は県庁東交差点の渋滞対策として一定の効果**があることがわかった。

令和3年春期の取組

■ 新たな取組

- 令和3年は**ぐるっとバス「氷室神社・国立博物館」停留所のスキップ運行を1年間試行**し、公園内道路の混雑緩和を図るとともに、利用者のニーズを把握し、ぐるっとバスの当停留所廃止を検討する。

■ 継続する取組

- 無料のパーク＆ライド駐車場を継続して開設し、流入交通の軽減を図る。
- 奈良県コンベンションセンター及び市営JR奈良駅駐車場の有料P&R駐車場で木簡切符進呈キャンペーンを実施し、駐車場の周知及び利用促進を図る。
- 京都方面からの通過交通を国道24号へ迂回誘導し、県庁東交差点の渋滞緩和を図る。
- 奈良公園周辺駐車場マップを登大路駐車場での入庫待ち車両に配布し、入庫待ち渋滞の抑制を図る。